

④平成 27 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	◆H27 年度末現在利用者 27,824 人、対前年度比 Δ6.9%	H27.4～	—
	【内訳】		
	◇市内コース 18,440 人、対前年度比 Δ 7.7%	H27.4～	—
	◇土曜日コース 475 人、対前年度比 Δ22.8%	H27.4～	—
	◇刈谷コース 8,909 人、対前年度比 Δ 4.1%	H27.4～	—
参画・協働・ 情報共有の工夫	★事業者、利用者等構成する地域公共交通会議にて運営方針を決定する。		
進捗状況	当初に掲げた計画どおり、順調に進めることができた。		
実施内容に 対する成果 (事業の自己評価)	☆年間利用者目標の 25,000 人は達成できた。		



⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 27 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
<u>(1) 利用者の減少</u> ・現行のコースが5年を経過し、これまで増加傾向であった利用者が、平成27年度に初めて減少した。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者減少の理由を分析し、コースの見直しの参考とする。 利用者が減少傾向にある土曜日コースの見直しを検討する。



⑥課題解決に向けた平成 28 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに (年月)
計画(案)	◆運行方針に基づきいきいき号を運行する。	H28.4
	◆利用状況の分析、コースの見直し、利用者の呼出に応じ適宜ルートを変える デマンドバス化の調査・研究を行う。	H29.3
参画・協働・ 情報共有の工夫	☆利用者、事業者、運転手等で構成する地域公共交通会議にて路線の見直し等を検討する。	

特記事項	
------	--